

各 位



2022年10月28日

上 場 会 社 名 麻生フオームクリート株式会社
代 表 者 代表取締役社長 花岡 浩一
(コード番号 1730)
問合わせ先責任者 取締役人事総務部長 井上喜博
(TEL. 044-422-2061)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	一株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,000	10	14	10	2 93
今回修正予想 (B)	1,777	△79	△74	△53	△15 81
増 減 額 (B-A)	△223	△89	△88	△63	—
増 減 率 (%)	△11.1	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	1,717	△108	△102	△72	△21 31

2. 2023年3月期通期業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,200	150	157	110	32 22
今回修正予想 (B)	4,000	50	60	42	12 30
増 減 額 (B-A)	△1,200	△100	△97	△68	—
増 減 率 (%)	△23.1	△66.7	△61.8	△61.8	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	3,594	△73	△65	△52	△15 25

3. 修正の理由

2023年3月期第2四半期(累計)の売上高につきましては、一部大型工事の前工事の遅れによる当社工事の見込工期のずれ込み、また見込んでいた工事の発注遅れや失注などにより、売上高は前回予想より減少し1,777百万円となる見込みであります。

各段階の損益につきましては、売上高の絶対額の不足や、複数の施工トラブルの発生による工事原価の増加もあり販管費を賄えず、営業損失△79百万円、経常損失△74百万円、四半期純損失△53百万円となる見込みであります。

2023年3月期通期の売上高につきましては、下期に見込んでいた複数の大型工事の発注や、一部大型工事の工期が翌事業年度にずれ込む見通しとなったことなどから、売上高は前回予想より大幅に減少し4,000百万円となる見込みであります。

各段階の損益につきましては、売上高が前回予想より大幅に減少見込みではありますが、一層のコスト低減に取り組むことで、営業利益50百万円、経常利益60百万円、当期純利益42百万円となる見込みであります。

なお、2022年5月13日に公表いたしました中期経営計画(2023年3月期～2025年3月期)での2024年3月期及び2025年3月期の数値計画につきましては、翌事業年度以降の事業環境及び数値計画に大きな変更が予測される場合は、速やかに修正のうえ開示いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

以 上